

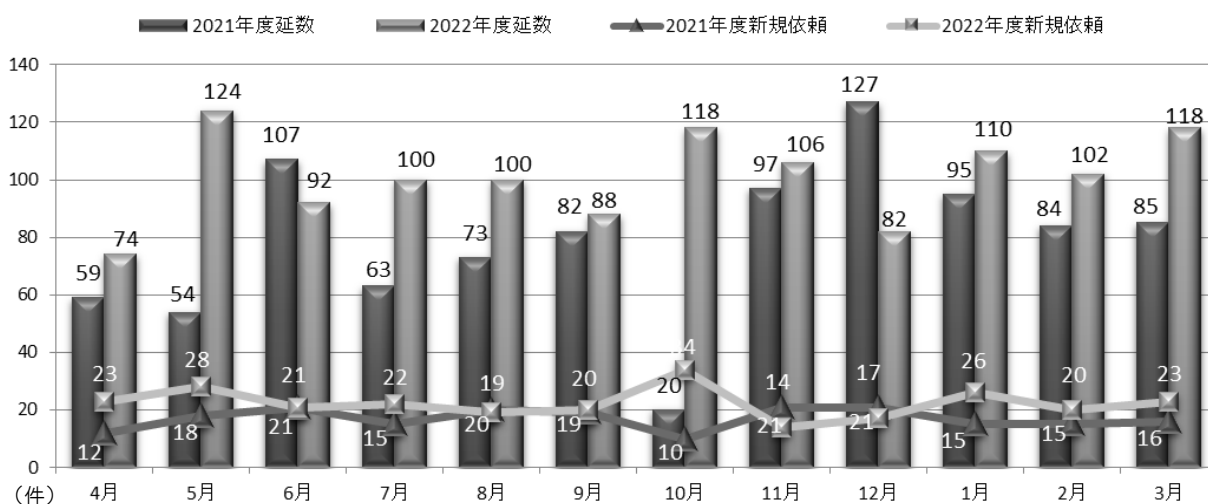
VII 精神科リエゾンチーム



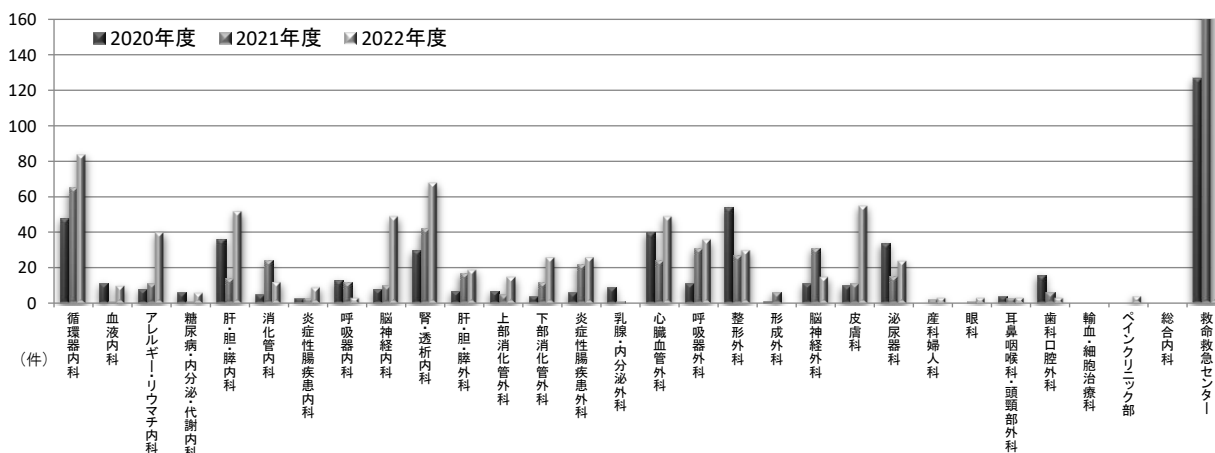
救急病棟や内科病棟に入院する患者さんの中で、精神的な問題を生じる人が少なくないのは周知の事実である。精神科リエゾン医学はそういった、一般病棟での精神的な問題に対応するために発展してきた「身体とところをつなぐ医学」と言える。精神科リエゾンチームは、この精神科リエゾン医学の考え方を基に、多職種が連携し、身体とところのつながりに焦点をあてた医療や支援を目指し、2012年10月から活動を始めた。2022年度の実施延件数、新規依頼件数および診療科別の推移は下記の通りである。

本年度における件数をみると、昨年度に比べ、新規依頼件数、のべ介入件数ともに増加しており、リエゾンチームへのニーズはなお高いといえる。介入した科、疾患は多岐にわたっており、さまざまな身体疾患において、精神的なフォローの重要性がうかがえる。その中でも救命救急センターからの依頼件数は新規、延人数とも最大である。これには、救命救急センターにおける継続的な精神科リエゾンチームのかかわりが必要、かつ重度の症例が多いことに加え、昨年度にひきつづき今年度も特に新型コロナウイルス感染症患者におけるせん妄のケアに多くかかわったためである。さらに2022年10月より、自殺企図により救急搬送された患者さんへのサポート体制の立ち上げもおこなった。しかしながら、ニーズが高まっているが、マンパワーが少ないというのが精神科リエゾンチームにおける現状である。その中でも、2023年度は、各科との連携を高め、ニーズに応えられるよう努力をしていきたいと考えている。

VII-1 年度別月別精神科リエゾンチーム実施延件数（2021年度合計946件、2022年度合計1,214件）と新規依頼件数



VII-2 精神科リエゾンチーム診療科別実施延件数の年度別推移（2020年度合計713件、2021年度合計943件、2022年度合計1,210件）



Ⅶ-3 年度別精神科リエゾンチーム診療科別実施延件数

(件)

区 分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2022年度 構成比率 (%)
循 環 器 内 科	67	38	48	65	84	6.9
血 液 内 科	81	15	11	1	10	0.8
アレルギー・リウマチ内科	69	9	8	11	40	3.3
糖尿病・内分泌・代謝内科	19	23	6	1	6	0.5
肝・胆・膵内科	45	31	36	14	52	4.3
消 化 管 内 科	15	2	5	24	12	1.0
炎症性腸疾患内科	9	10	3	3	9	0.7
呼 吸 器 内 科		16	13	12	3	0.2
脳 神 経 内 科	26	94	8	10	49	4.0
腎・透析内科	28	71	30	42	68	5.6
小 児 科				3	4	0.3
肝・胆・膵外科	19	32	7	17	19	1.6
小 児 外 科						
上 部 消 化 管 外 科	5	15	7	5	15	1.2
下 部 消 化 管 外 科	25	3	4	12	26	2.1
炎症性腸疾患外科	28	21	6	22	26	2.1
乳 腺 ・ 内 分 泌 外 科	6		9	1		
心 臓 血 管 外 科		57	40	24	49	4.0
呼 吸 器 外 科	38	27	11	31	36	3.0
整 形 外 科	52	34	54	27	30	2.5
形 成 外 科		3	1	6		
脳 神 経 外 科	3	9	11	31	15	1.2
皮 膚 科	4	8	10	11	55	4.5
泌 尿 器 科	32	19	34	15	24	2.0
産 科 婦 人 科	8	2		2	3	0.2
眼 科	3			1	3	0.2
耳鼻咽喉科・頭頸部外科	4	13	4	3	3	0.2
歯 科 口 腔 外 科	11	18	16	6	3	0.2
ペインクリニック部	2	1			4	0.3
総 合 内 科		4				
救命救急センター	156	120	127	279	322	26.5
小 計	755	695	509	679	970	79.9
精 神 科 神 経 科	140	150	204	267	244	20.1
合 計	895	845	713	946	1,214	100.0